

さがみの水

毎日飲んでいる水道水はどこの水？



神奈川の水守り人
県営水道キャラクター
カッピー

いっしょに勉強しよう！

みなさんは、いつも使っている水道水がどこからとどくのか知っていますか？
いっしょに調べてみよう！

こどものための特集号

Q.1

水道水は、どこの水なのかな？

お答えします！

さがみ川とさかわ川、2つの川の水がほとんどだよ。

A.1

水道水は川などの水から作られています。県営(けんえい)水道の水は、さがみ川の水や、さかわ川の水、わき水などからつくられています。みなさんの住んでいる場所の水はどこの水か、左上の地図でかくにんしてみよう！

Q.2

川の水がどうして飲めるようになるのかな？

わたしたちが、川からじょうすい場にまで、とどくまで、しっかりとみまっています。

A.2

それは、じょうすい場で川の水にまざっているよごれなどをとったり、えんそでしようどくしてあんにんに飲める水をつくられているからです。

Q.3

じょうすい場を見学できるのかな？

A.3

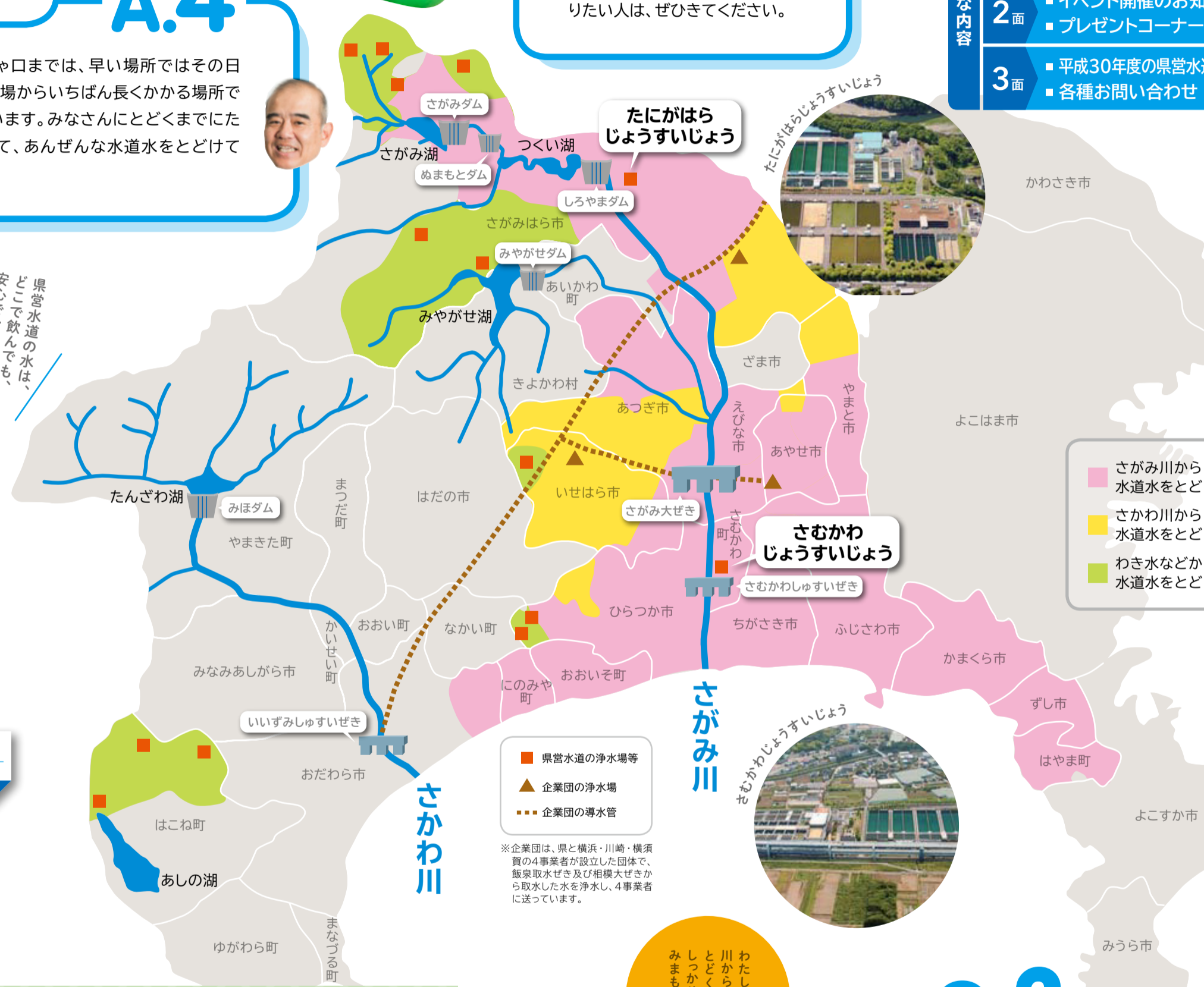
6月3日(日)の10時から15時まで、「さむかわじょうすい場」と「たにがはらじょうすい場」を見学できます。じょうすい場をくわしく知りたい人は、ぜひきてください。

Q.4

じょうすい場から、なん日で水道水がとどくのかな？

A.4

じょうすい場からじゃ口までは、早い場所ではその日のうちに、じょうすい場からいちばん長くかかる場所でも、3日でとどけています。みなさんとどくまでにたくさんけんさをして、あんにんに水道水をとどけています。



さがみ川から水道水をとどける場所
さかわ川から水道水をとどける場所
わき水などから水道水をとどける場所

県営水道の浄水場等
企業団の浄水場
企業団の導水管

※企業団は、県と横浜・川崎・横浜の4事業者が設立した団体で、飯塚取水せき及び相模大せきから取水した水を浄水し、4事業者に送っています。



神奈川の水守り人
渡部水道部長

県営水道の水は、どこで飲んでも、安心でおいしい水。

毎日飲んでいる水道水は「神奈川の水」

県営水道は、昭和初期に、水源が近くにない湘南地方の市町から要望を受け、現在の寒川浄水場の近くから相模川の水を取水し、水道事業を開始しました。その後、人口増加に対応するため、新たに酒匂川からも取水を開始したほか、地域によっては、湧き水などからも水道水を届けています。県営水道の水がめは、すべて神奈川県内にあります。みなさんに届く水道水が、県内のどこから届くのか、地図を確認してみませんか。



企業庁のホームページ
神奈川 企業庁 検索

【編集・発行】神奈川県企業庁経営課 〒231-8588 横浜市中区日本大通1 ☎045-210-7215
広報紙「さがみの水」は、新聞折込でお届けしていますが、水道営業所、県営水道給水区域内の市町の窓口や郵便局などにも置いてあります。
●個人情報の保護について/ご応募いただきました個人情報は厳重に管理し、応募者の同意なしに第三者に開示・提供することはありません。



ホームページ「かながわの水がめ」では、県内4湖の貯水状況を毎日更新しています。

かながわの水がめ 検索